

年次	造船所	船隻數	總噸數
大正三年	川崎	4	3,600
	三菱	3	3,000
同四年	川崎	3	3,700
	三菱	2	2,600
同五年	川崎	5	3,300
	三菱	7	4,100
同六年	川崎	6	3,800
	三菱	8	4,100
同七年	川崎	10	5,500
	三菱	11	5,500
合計		37	28,900

更に之を各造船所別に示せば次の如し

△鋼 船

□本邦戰時造船成績 (造船所別) (下)

年次	造船所	船隻數	總噸數
大正三年	川崎	4	3,600
	三菱	3	3,000
同四年	川崎	3	3,700
	三菱	2	2,600
同五年	川崎	5	3,300
	三菱	7	4,100
同六年	川崎	6	3,800
	三菱	8	4,100
同七年	川崎	10	5,500
	三菱	11	5,500
合計		37	28,900

(174)

ウワノメード	四、五〇〇
イーストホート	四、三六一
寶永山	六、〇七九
パタビヤ	四、三八二
明光	四、三八三
東泰	三、一九三
ガンス	四、三六二
イースタナライト	七、一九九
喜久	二、一九四
合計	五、九二噸
合計	一〇三、四八九噸

△川崎造船所

東福	五、八五八
甘福	五、八六〇
長門	五、九〇〇
興福	五、八五九
イーストラント	五、八六五

英國賣	五、八六五
交換船	五、八六五
三井物産	五、八五八
大阪商船	五、八五九
明治海運	五、八六〇
神戸東和	一、七二三
商船	五、八五七
交換船	五、八五七
神戶商船	五、八五七

英國賣	五、八六五
交換船	五、八六五
三井物産	五、八五八
大阪商船	五、八五九
明治海運	五、八六〇
神戸東和	一、七二三
商船	五、八五七
交換船	五、八五七
神戶商船	五、八五七

イースタナライト	五、八六五
イーストホート	五、八六五
盛一大	五、八五八
甘福	五、八五九
永福	五、八六〇
昌福	一、七二三
喜福	五、八五七
豐福	五、八五七
東福	五、八五七
來福	五、八五七
成福	五、八五七
慶福	五、八五七
合計	九五、五四噸

△神戶三菱造船所

大正	一、七〇三
廣島	一、七〇三
山田	一、七〇三
山田	一、七〇三
山田	一、七〇三
合計	五、一二噸

交換船	五、八六五
交換船	五、八六五
交換船	五、八五八
交換船	五、八五九
交換船	五、八六〇
交換船	一、七二三
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七

交換船	五、八六五
交換船	五、八六五
交換船	五、八五八
交換船	五、八五九
交換船	五、八六〇
交換船	一、七二三
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七
交換船	五、八五七

(175)

あふりか	九、四九九
富浦	三、八二〇
ヒマラヤ	五、三三八
三東洋	一、八四八
宮浦	一、八五〇
亞刺比亞	九、四九九
喜春	一、八三二
和神	一、八三〇
甲南	五、一六六
七郎	一、〇〇七(木)
合計	四、六九噸
合計	四、七四噸

△浦賀船渠會社

ドクトルヒエルブノア	八、三三〇
イーストインザン	八、三五
神邦	四、七六

△長崎三菱造船所

大阪商船	二、二六三
三菱商船	八、三三〇
大阪商船	四、六四六
澤山商船	四、七三九
三菱商船	一、二六九
大阪商船	一、二七四
辰馬商船	一、二七四
浪速商船	四、七五噸
神菱商事	四、七五噸

明字大	二、二六三
三吉	八、三三〇
廣南	四、六四六
一南	四、七三九
二南	一、二六九
三南	一、二七四
計	四、七五噸
計	四、七五噸
若葉	八、三三〇
相州	八、三三〇
勢州	一、三三〇
吳州	一、三三〇
對州	一、三三〇
一吉	一、三三〇
合計	三、九九二噸

△淺野造船所

山正海地	二、二六三
山正海地	八、三三〇
山正海地	四、六四六
山正海地	四、七三九
山正海地	一、二六九
山正海地	一、二七四
山正海地	一、二七四
山正海地	四、七五噸
山正海地	四、七五噸

山正海地	二、二六三
山正海地	八、三三〇
山正海地	四、六四六
山正海地	四、七三九
山正海地	一、二六九
山正海地	一、二七四
山正海地	一、二七四
山正海地	四、七五噸
山正海地	四、七五噸

(179)

五	四	三	二	二	一	一	三	大	多	合	三	大	多
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻
三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻
三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻

同	同	三	大	前	大	前	三	松	東
同	同	三	大	前	大	前	三	松	東
同	同	三	大	前	大	前	三	松	東
同	同	三	大	前	大	前	三	松	東

合	千	神	合	佐	十	常	合	歷	江	三	合	三	松
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻
三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻	三隻

仕	仕	神	濱	仕	島	高	三	松
入	入	港	入	入	入	野	上	上
船	船	汽	口	船	船	汽	豐	昌
船	船	船	船	船	船	船	夷	昌

(178)

十	八	合	神	福	東	函	三	大	大	大	大	合	合
吉	吉	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
備	備	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
備	備	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
備	備	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

豐	日	大	大	濱	內	長	內	內
崎	佐	大	大	濱	內	長	內	內
崎	下	大	大	濱	內	長	內	內
崎	下	大	大	濱	內	長	內	內

十	八	十	九	七	合	青	朝	神	相	合	十	九	十
萬	萬	萬	萬	萬	計	計	計	計	計	計	計	計	計
萬	萬	萬	萬	萬	計	計	計	計	計	計	計	計	計
萬	萬	萬	萬	萬	計	計	計	計	計	計	計	計	計

新	新	新	新	新	帝	帝	帝	帝	帝	仕	佛	豐
田	田	田	田	田	國	國	國	國	國	入	國	崎
田	田	田	田	田	汽	汽	汽	汽	汽	船	船	船
田	田	田	田	田	船	船	船	船	船	船	船	船

(180)

六吉備	三正	三萬世	櫻島	十萬世	功海	銅山
△關西造船所	△原田造船所	△東洋工業	△信實造船所	△橋本造船所	△山	△信實造船所
1,193	1,144	1,146	1,174	1,099(木)	1,154(木)	1,100
豊崎	三井	日下部	仕入船	中村萬	葛岡保	仕入船
八千代	松島	大	三真盛	六萬盛	廿二霧島	三真盛
△浪華造船所	△藤岡造船所	△木津川造船所	△原造船所	△九州造船所	△岡本造船所	△原造船所
1,133	1,134	1,110	1,133	1,137	1,163	1,133
大正汽船	帝國汽船	日下部	原真一	高島幸雄	中村萬	原真一

(181)

千	燧	基	矢	運	鶴
△栃木造船所	△井藤造船所	△原鐵工所	△宮城屋	△大原造船所	△都留造船所
1,175	1,199(木)	1,100	1,065	1,051	1,010
栃木商事	八木龜	富田屋	山一汽船	沖繩物産	宮城屋
大正四年	大正五年	大正六年	大正六年	大正七年	大正七年
約 1300圓	約 2500圓	約 4000圓	約 4700圓	約 8500圓	約 9100圓

戰時造船用鋼材價格

平均價格(一噸當) 約 九〇圓

本邦新造貨物船平均價格

總噸當 重量噸當 二〇圓 一〇圓

備考

一、本調査は内地に於ける取引價格にして大正七年上半期以降は製鐵所拂下價格に依れり

二、製鐵所拂下最高價格は大正七年九月に於て鋼板一噸當一、四六一圓大正七年七月に於て型鋼一噸當九四四圓なり

三、本調査中には鑼板其の他特種材料を含まず

大正七年下半年(休戰條約成立前)

大正七年上半年(休戰條約成立後)

弗米利及加阿		歐洲														
亞細亞	其利	亞弗	濠洲	西印	北米	其合	希衆	ルセ	西班	露牙	埃亞	諾威	瑞典	佛蘭	獨逸	英吉
1,300,000	1,500,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000
1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000
1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000
1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000
1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000
1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000
2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000
2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000
2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000	3,800,000
2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000	3,800,000	3,900,000
2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000	3,800,000	3,900,000	4,000,000

大正四年	大正五年	大正六年	大正七年
上半期	下半期	上半期	下半期
大型船	小型船	大型船	小型船
1,800	1,600	1,500	1,400
1,700	1,500	1,400	1,300
1,600	1,400	1,300	1,200
1,500	1,300	1,200	1,100
1,400	1,200	1,100	1,000
1,300	1,100	1,000	900
1,200	1,000	900	800
1,100	900	800	700
1,000	800	700	600
900	700	600	500
800	600	500	400
700	500	400	300
600	400	300	200
500	300	200	100
400	200	100	0

世界鐵鑛包藏量

鐵鑛實量 鐵鑛潛量

重量噸數一噸當九〇〇圓にて賣買せられたるものとす

■造船職工賃金

昨年中に於ける造船職工賃金は左の標準なるも割増受買等の制度ありて事實上の収入は五割乃至三倍内外なり

月次	二月	四月	六月	八月	十月	十二月
最高	二、七五〇	二、七五〇	二、七五〇	二、七五〇	二、七五〇	二、七五〇
普通	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇
最低	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇

■英米造船職工賃金 (週給)

英國	最高	最低	米國	最高	最低
最高	六、九七五	三、四七五	最高	三、三〇〇	二、一〇〇
最低	三、四七五	一、四七五	最低	二、一〇〇	一、一〇〇

一、大正七年下半年平均價格は十月迄のものにして休戦條約成立後ハ船舶賣買の實例皆無なり

二、最高價格は大正六年八月に於て重量噸數一、六〇〇噸の第一久美愛丸が重量噸數一噸當、〇〇〇圓及大正七年五月重量噸數九、〇〇〇噸の長門丸が

世界産鐵趨勢

Table showing world iron production trends from 1908 to 1920 for various countries including USA, UK, France, Germany, etc.

世界銑鐵産趨勢

Table showing world pig iron production trends from 1910 to 1915 for various countries including USA, UK, France, Germany, etc.

英米獨製鐵能力比較

Table comparing iron production capacity of Britain, USA, and Germany from 1908 to 1914.

Table showing iron consumption trends and percentages for various countries including USA, UK, France, Germany, etc., from 1908 to 1914.

本邦鋼材需給趨勢

Table showing domestic steel supply and demand trends in Japan from 1910 to 1915.

保 險

□ 昨年度戦時海上再保険成績

月	船体	貨物	再保険金額	再保険料
一月	船体	貨物	一〇,二五八	一,七九七
二月	船体	貨物	九,一三三	一,七九七
三月	船体	貨物	一,九四〇	一,八〇一
四月	船体	貨物	一〇,七五五	一,六三三
五月	船体	貨物	二,〇一〇	一,六三三
六月	船体	貨物	三,四三三	三,四三三
七月	船体	貨物	三,一四一	三,一四一
八月	船体	貨物	二,〇七五	二,〇七五
九月	船体	貨物	三,八〇〇	三,八〇〇
十月	船体	貨物	三,一〇〇	三,一〇〇
十一月	船体	貨物	一〇,四五六	一〇,四五六
十二月	船体	貨物	七,七〇八	七,七〇八
合計			七〇,八二四	八,七〇八

□ 戦時海上保険法に依る損害

我戦時保険局が同法施行後(六年九月より八年二月末)損害として支拂ひたる其内容左の如し

事件名	船籍	遭難年月日	遭難場所	遭難模様	損害物件	損害見込額	再保険金支拂済額	再保険金支拂未済見込額
エツチウ丸	瑞典	六、〇、七	北印度洋	撃沈	積荷全損	二、八二〇	—	二、八二〇
常陸丸	日本	六、二、八	北印度洋	同	同	一、四四五	—	一、四四五
ソールハウク	諾威	六、三、七	北印度洋	同	同	七〇五	—	七〇五
サルチニア	英國	七、二、四	地中海	一部損傷	積荷五分	二七六、八四〇	—	二七六、八四〇
メルシア	瑞典	七、二、〇	北印度洋	撃沈	積荷全損	七二、三八〇	—	七二、三八〇
ユウメア	英國	七、二、二	英國近海	同	同	五九、二七七	—	五九、二七七
マチャオン	同	七、二、七	地中海	同	同	二三五	—	二三五
テモドカス	同	七、三、三	同	一部損傷	積荷全損	一六九、九三六	—	一六九、九三六
ソート	瑞典	七、四、五	北海	撃沈	積荷全損	二八、八三三	—	二八、八三三
アト	佛國	七、五、九	地中海	一部損傷	同	未詳	—	未詳
チツク	佛國	七、六、未詳	地中海	一部損傷	同	未詳	—	未詳
グローク	英國	七、六、未詳	同	一部損傷	同	未詳	—	未詳
アンテノ	和蘭	七、六、未詳	同	一部損傷	同	未詳	—	未詳
メカニセル	佛國	七、六、三	同	撃沈	同	六四〇、四〇〇	—	六四〇、四〇〇
合計						三、九三三	—	三、九三三

敵國以外戰時中商船得喪概表

再差引損失高

戰時中に於ける商船の總損失高は敵國側を除き世界總體にて千五百萬三千七百八十六噸新造商船に在りては敵國側を除き千八十四萬九千五百二十七噸なる然れどもこは敵國側の戰時中に於ける純損失を計上せず尙聯合國商船にして敵國に捕獲せられたるものを包含するを以て未だ全世界の總損失と見るを得ざるなり尤も

Table with columns for ship status (Total loss, New construction, Difference in capture/recovery), and rows for time periods from 1916 to 1918. Values are in tons.

世界戰時船舶得喪表

(英國海軍省發表)

Table showing ship losses and captures by region (Americas, Europe, Asia, Africa, Australia) and ship status (Sunk, Captured, High). Rows include time periods from 1914 to 1918.

敵國側の商船純喪失高に就ては未だ正確の材料を得ず
次に聯合國側の商船に捕獲せられたるものに
付き見るに英國政府の調査によれば開戦當時敵國港灣
に在りたるもの聯合國船舶五萬四千三百十四噸中立國
船舶九萬三千四百八十七噸外に噸數不明のもの十二艘
なるを以て全世界の戦時中商船總喪失高の概算は左の
如し

敵國以外の總損失高	四、一四四、〇〇〇噸
敵國純損失高	四、四三三、〇〇〇
計	八、五七七、〇〇〇
右の内	
聯合國の捕獲せる使用敵船	二、三九一、六七五
敵國が抑留せる聯合國使用船	二二〇、六五三
敵國が捕獲せる聯合國及中立國使用船	一四七、八〇〇
計	二、七五一、〇〇〇
差引世界純損失高	五、八八五、〇〇〇

戰時世界船舶喪失國別

(自一九四一年八月至一九四八年十月)

國名	戰禍	海難
英國	七、七五三、三二一	一、〇三三、七一九
同屬	一九六、七三三	九、八六六
伊太利	九七六、五二六	一九五、二四四
佛蘭西	七五五、七六六	一一五、六六九
希臘	七三三、九九九	八四、二八
希國	三四九、六八一	六五、〇二四
米國	三四三、〇九〇	一八七、九四八
獨逸	二二〇、七九七	二七、二四四
瑞典	一九五、八八七	—
日西班	一八〇、四二五	八三、五六六
露國	一五七、五三七	八〇、三三五
	一九、七六四	一五〇、二六九
	八五、八四二	一九、三三九
	七、八〇三	—

船名	總噸數	遭難年月日	遭難場所	船主
和關	六五、一四六	四、一、三	地中海	白洋汽船
土其	五五、二八三	四、一、三	地中海	永田三十郎
埃國	三三、四八	三、三、八	地中海	松昌洋行
伯刺西	三〇、三三八	三、三、八	地中海	同
葡牙	二〇、八七九	三、三、八	地中海	同
羅馬尼亞	三、六八八	三、三、八	地中海	山下汽船
加奈露	三、四六四	三、三、八	地中海	原真一
秘露	一、四一九	三、三、八	地中海	大澤德太郎
□本邦擊沈船 (開戦後)				
靖國丸	四、六六二	四、一、三	佛オラン港	橋本汽船
千壽丸	四、三三〇	四、一、三	地中海	松昌洋行
報國丸	四、七三三	四、一、三	地中海	日本郵船
八阪丸	一〇、九三三	四、一、三	地中海	中村精七郎
建國丸	三、三三三	四、一、三	地中海	神棧汽船
大越丸	三、〇九一	五、六、二	同	橋本汽船
小雞丸	三、〇四〇	五、八、二	同	農商務省松昌洋行貸下
影島丸	四、五三六	六、七、〇	英國海峽	—
信貴丸	三、〇三三	六、七、二	佛リユーカ	—
神棧丸	三、三三三	六、七、二	地中海	—
第七雲海丸	二、一三三	六、一、六	印度洋	—
宮崎丸	七、八九一	六、五、三	英國海峽	—
唐山丸	三、四三三	六、五、七	太西	—
泰山丸	三、五三七	六、五、二	アイルラン	—
澤丸	二、五三三	六、三、六	アイルラン	—
眞盛丸	二、八三七	六、二、六	地中海	—
佐方丸	二、五七七	六、一、〇	北	—
第三喜丸	二、五七〇	六、一、四	ビスケー	—
青島丸	二、五二〇	六、一、四	ル沖	—
多喜丸	三、〇八八	五、二、六	同	—
永田丸	三、五三三	五、一、〇	英國海峽	—
天明丸	三、三三三	五、八、〇	同	—
天明丸	三、三三三	五、八、〇	同	—

(192)

萬代丸	三、九元	六、八、二五	アフリカ	大正汽船
彦山丸	三、五、四	六、一〇、二	ン岬沖	橋本喜造
藻寄丸	三、七、六	六、一〇、一〇	イセント	帝國汽船
生駒丸	三、〇、五七	六、一〇、〇	カナリ	大正汽船
常陸丸	六、五、七	六、一、初	マデイラ	日本郵船
東昌丸	三、〇、三六	七、一、二	沖度	日本郵船
大天丸	四、五、五	七、三、六	サチニア	田中合資
徳山丸	七、〇、五	七、八、一	伊太利近海	松昌汽船
平野丸	七、九、五	七、一〇、四	紐育北東沖	日本郵船

遭難船員待遇

戦時遭難船員に就て郵商船に於ては過重の待遇あるも一般社外船主の待遇程度に就て神戸海員協會の調査せる處に依れば左の如し

△撃沈遭難手當

船名	原因	職名	勤続	手當	給料との割合	船主	
靖國	撃沈	船長	四ヶ月	一〇〇	六箇月半	山下	
建國	同	三運	二ヶ月半	二五	八ヶ月半	橋本	
大越	同	船長	約一年	一〇〇	七ヶ月以上	中越	
小離	同	同	約六ヶ月	五	一年	村井	
天明	同	同	三ヶ月	一四〇	十二ヶ月	白田	
永田	同	同	同	一九六	八ヶ月半	永田	
多喜	同	同	同	一	十二ヶ月	松昌	
青島	同	同	同	三	十ヶ月	同	
三喜佐方	同	同	同	月分	同	同	
眞盛	同	同	同	五年十ヶ月	五〇	約七ヶ月	原山
澤山	同	同	同	同	同	同	下
泰山	同	同	同	同	同	同	同
信貴山	同	同	同	同	同	同	同

(193)

影島	同	一運	一ヶ月	十七	同上	松昌
萬代	同	上級	四ヶ月半	一	約六ヶ月	大正
彦山	同	同	同	一	同上	橋本
萬寄	同	船長	二ヶ月	一	九ヶ月半	帝國
勝立	沈没	船長	二年四ヶ月	一	一ヶ月強	八馬
海邦	難破	同	六ヶ月	一	二ヶ月強	勝田
七雲	難破	同	五年五ヶ月	一	四ヶ月	中村組
琴平	難破	同	四ヶ月	一	三ヶ月半	勝田
三乾	難破	遺難日限	同	一	三ヶ月	勝田
士多聞	沈没	船長	三年四ヶ月	一	一ヶ月	八馬
旺洋	同	同	一ヶ月	一	一ヶ月	村井
千壽	不明	機長	一年五ヶ月	三〇	二四ヶ月	辰馬

永田	殉難	三運	三ヶ月	一五三	三九ヶ月	永田
多喜	不明	機長	一ヶ月	一四〇	十ヶ月弱	松昌
眞盛	同	同	同	同	同	同
澤山	同	同	同	同	同	同
神機	同	同	同	同	同	同
報國	同	同	同	同	同	同
盛興	同	同	同	同	同	同
平洋	同	同	同	同	同	同
喜寶	同	同	同	同	同	同
宣春	同	同	同	同	同	同
海邦	同	同	同	同	同	同
士多聞	同	同	同	同	同	同
旺洋	同	同	同	同	同	同

(197)

船名	旭營安門備南福亞上江大	船名	旭營安門備南福亞上江大
△火	口宅司マル	△火	口宅司マル
總噸數	二、〇七二 一、八四三 三、八〇〇 二、五二〇 四、五七九 六、〇一四 四、九〇〇 二、〇〇〇 五、九四五 一、九三七 二、八六六 一、四四二 九、一〇〇	總噸數	二、〇七二 一、八四三 三、八〇〇 二、五二〇 四、五七九 六、〇一四 四、九〇〇 二、〇〇〇 五、九四五 一、九三七 二、八六六 一、四四二 九、一〇〇
遭難月日	一、二二 二、二二 二、二七 五、二五 五、二二 七、一三 七、一五 九、一六 九、一六 一〇、一七 一一、一四 一一、一八 一一、一〇	遭難月日	一、二二 二、二二 二、二七 五、二五 五、二二 七、一三 七、一五 九、一六 九、一六 一〇、一七 一一、一四 一一、一八 一一、一〇

船主	山下汽船 日本郵船 辰馬汽船 門司汽船 大阪商船 日本郵船 明治海運 日本海運 大阪商船 山一商船 馬場合資 川崎造船	船主	山下汽船 日本郵船 辰馬汽船 門司汽船 大阪商船 日本郵船 明治海運 日本海運 大阪商船 山一商船 馬場合資 川崎造船
鹿兒島	東海	船名	東海
總噸數	五、四六〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 三、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	總噸數	五、四六〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 三、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
遭難月日	一、二四 六、二六 六、二六 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二	遭難月日	一、二四 六、二六 六、二六 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二 七、二二
事故	原田汽船 東京商船 南洋貿易 山一郵船 日本郵船	事故	原田汽船 東京商船 南洋貿易 山一郵船 日本郵船

(196)

船名	廣正香大榮正香廣	船名	廣正香大榮正香廣
△火	東取木進日和春大	△火	東取木進日和春大
總噸數	二、七四三 二、〇六九 一、三〇〇 九、九三二 一、四四八 三、四八〇 六、〇〇〇 三、〇〇〇 二、四四五 九、九四九 四、九八八 一、六六八 一、九三二 五、七五九 一、九三二 一、八八〇 五、八〇〇 二、〇〇〇	總噸數	二、七四三 二、〇六九 一、三〇〇 九、九三二 一、四四八 三、四八〇 六、〇〇〇 三、〇〇〇 二、四四五 九、九四九 四、九八八 一、六六八 一、九三二 五、七五九 一、九三二 一、八八〇 五、八〇〇 二、〇〇〇
遭難月日	五、一九 五、二八 五、二九 五、二九 五、三〇 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一	遭難月日	五、一九 五、二八 五、二九 五、二九 五、三〇 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一 五、三一

船主	山下汽船 辰馬汽船 日下郵船 大日本郵船 日本郵船 松本汽船 山崎汽船 同竹三郎 林竹三郎 齊藤汽船 北日本汽船 村尾汽船 大阪商船 日下汽船 新田汽船 三井物產	船主	山下汽船 辰馬汽船 日下郵船 大日本郵船 日本郵船 松本汽船 山崎汽船 同竹三郎 林竹三郎 齊藤汽船 北日本汽船 村尾汽船 大阪商船 日下汽船 新田汽船 三井物產
鹿兒島	東海	船名	東海
總噸數	四、六九八 八、八七〇 七、七〇〇 三、〇〇〇 二、七〇〇 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六	總噸數	四、六九八 八、八七〇 七、七〇〇 三、〇〇〇 二、七〇〇 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六 一、一六六
遭難月日	八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇	遭難月日	八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇 八、三〇
事故	日本郵船 東洋汽船 橋本汽船 酒井汽船 太陽汽船 島谷汽船 三菱商船 日下郵船 三井物產 田中商會 日本郵船 廣瀨才市 攝陽汽船 田所商會 日本郵船 酒井汽船	事故	日本郵船 東洋汽船 橋本汽船 酒井汽船 太陽汽船 島谷汽船 三菱商船 日下郵船 三井物產 田中商會 日本郵船 廣瀨才市 攝陽汽船 田所商會 日本郵船 酒井汽船

右比率は五年前の統計に屬し現在に於ては其國々の工業發展の長短に依つて實情を異にするに至つて居る事は勿論であらうが佛國、白耳義と共に我國は最も石炭國としての壽命が短い部類に屬して居る

□世界の石炭産額 (一九一六)

國名	産出額 (千噸)	輸入額 (千噸)	輸出額 (千噸)
瀛洲	一、二七〇	一、三三三	一、三五一
地利	一、五五四	三、八三三	一、三五一
洪牙利	一、二六九	三、八三三	一、三五一
白耳義	三、六三三	九、九五五	七、二九四
英領印度	一、四七六	七、四	八八一
英領喜望峯	二、四六九	七	一、四三三
英領ナタル	二、四六九	七	一、四三三
英領オランダ	四、四三三	七	一、四三三
南アフリカ	四、四三三	七	一、四三三
阿蘭陀	二、九五六	一、八三三	一、八三三
加奈陀	三、七四五	二、四七七	二、四七七
佛蘭西	一、七三三	二、四七七	二、四七七
獨逸	一、七三三	二、四七七	二、四七七

□本邦炭界趨勢

昨年度の石炭界は未曾有の繁栄を極め炭價の暴騰は勿論各炭坑主が全力を傾注して産炭増加に努めたるも尙常に供給不足を繼續せる盛況なりき以下昨年中の参考諸統計を示さん

年次	全國産額 (千噸)	九州及山口縣産額 (千噸)
明治四十一年	一、四八五	六、九三三
明治四十年	一、四八五	六、九三三
明治三十九年	一、四八五	六、九三三
明治三十八年	一、四八五	六、九三三
明治三十七年	一、四八五	六、九三三
明治三十六年	一、四八五	六、九三三
明治三十五年	一、四八五	六、九三三
明治三十四年	一、四八五	六、九三三
明治三十三年	一、四八五	六、九三三
明治三十二年	一、四八五	六、九三三
明治三十一年	一、四八五	六、九三三
明治三十年	一、四八五	六、九三三
明治二十九年	一、四八五	六、九三三
明治二十八年	一、四八五	六、九三三
明治二十七年	一、四八五	六、九三三
明治二十六年	一、四八五	六、九三三
明治二十五年	一、四八五	六、九三三
明治二十四年	一、四八五	六、九三三
明治二十三年	一、四八五	六、九三三
明治二十二年	一、四八五	六、九三三
明治二十一年	一、四八五	六、九三三
明治二十年	一、四八五	六、九三三
明治十九年	一、四八五	六、九三三
明治十八年	一、四八五	六、九三三
明治十七年	一、四八五	六、九三三
明治十六年	一、四八五	六、九三三
明治十五年	一、四八五	六、九三三
明治十四年	一、四八五	六、九三三
明治十三年	一、四八五	六、九三三
明治十二年	一、四八五	六、九三三
明治十一年	一、四八五	六、九三三
明治十年	一、四八五	六、九三三
明治九年	一、四八五	六、九三三
明治八年	一、四八五	六、九三三
明治七年	一、四八五	六、九三三
明治六年	一、四八五	六、九三三
明治五年	一、四八五	六、九三三
明治四年	一、四八五	六、九三三
明治三年	一、四八五	六、九三三
明治二年	一、四八五	六、九三三
明治元年	一、四八五	六、九三三

次に全國各重要炭山出炭月別内容左の如し(十一月迄)

月別	七年	六年	五年	四年	三年	二年	元年	同	同	同	同	同
一月	一、八九九、八〇四	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
二月	一、八五五、六三七	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
三月	二、二二二、八六七	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
四月	二、〇五七、二六四	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
五月	二、〇六〇、七三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
六月	二、〇六〇、七三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
七月	一、九六四、四三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
八月	一、九六四、四三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
九月	一、九六四、四三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
十月	一、九六四、四三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
十一月	一、九六四、四三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二
計	一、九六四、四三三	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二	一、七三七、〇五二

同以上の合計を各府縣に區別して對比すれば左の如し

府縣別	大正七年	大正六年
府計	一、八三三、〇五七	一、九二四、〇〇三
北海道	一、六五五、五五〇	一、七九四、五七一
北陸縣	一、八五三、三五八	一、八五三、三五八
福井縣	二、〇二五、四五一	一、九六九、九七三
石川縣	一、八三九、〇四九	二、一〇四、八八一
富山縣	二、五五七、〇五五	二、三三三、三〇〇
福井縣	三、三〇五、四八〇	二、九八五、三三二
長崎縣	一、七六三、〇七七	一、五五五、七〇七
茨城縣	六四七、九三〇	五五五、六六六
山形縣	九四二、〇六六	一、〇〇七、八三〇
福島縣	七九〇、〇七七	六六四、七九九
山形縣	二、三七二、五五五	二、七九六、三七二
福井縣	一、六六七、四七七	一、六六五、六八一
佐賀縣	二、五五七、〇五五	二、三三三、三〇〇
計	八元、九六六	七〇、七八九
尙月別九州山口産額は	大正七年	大正六年
一月	八元、九六六	七〇、七八九

十二	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月
肥前炭	并島炭	三池炭	唐津炭	筑豊炭	常盤、元山炭	北海、道炭	臺灣、朝鮮炭	其他炭	一、八三五	八三、九二二	八三、九二二
一、六〇六	五七〇	一、三〇〇	一、四九〇	一〇、一八〇	三、四八三	三、八八七	八二九	一、八三五	七〇〇、二四七	九三、〇三三	九三、〇三三

次に全国主要炭産地別数量(六年度)内容左の如し(單位千噸)

五月	四月	三月	二月	一月	別
九七、一九九	九七、五七八	九七、一三〇	九七、一三〇	九七、一三〇	大正七年
九七、一九九	九七、五七八	九七、一三〇	九七、一三〇	九七、一三〇	大正六年

産額の増進運々たるに拘はらず需要額は益々増加し供給常に不足を感じて炭價の昂騰を餘儀なくせしめたり即ち七年の概算は一千六十三萬五千七百二十八噸にて供給に超過する事二十九萬五千餘噸、而して其方面を大別すれば海外輸出七十四萬四千餘噸、内地消費高(九州以外にして朝鮮を含む)六百九十二萬餘噸、門若兩港に於ける外國汽船燃料積込十二萬二千餘噸同上内國汽船に積込百十二萬六千噸九州各地に於て消費せるもの百七十一萬五千餘噸等なるが其の詳細は別項に記する事とし昨年中の需要高總計を月別として前年と對比すれば左の如し

△需要増加趨勢

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
八四、三三四	八〇、七〇五	七六、三三七	八三、五九六	九一、三三〇	八三、四四四	九七、八六六	一〇、六五五、七三〇
八四、三三七	八五、八五三	八六、八五七	八八、〇六六	九一、九六六	九七、六八八	八三、〇三六	一〇、六五五、七三〇

而して更に最近十年間に於ける需要増進の状況を記すれば

同	七年	六年
一六、六三五、七二八	一六、六三五、七二八	一六、六三五、七二八
一六、六三五、七二八	一六、六三五、七二八	一六、六三五、七二八

昨年中の海外輸出炭は内地の需要急にして其餘力なかりし炭價の昂騰船腹の不足等よりして合計七十四萬四千七百二十一噸に過ぎず前年に比し二十八萬二千七百十七噸即ち二割八歩の減少而して輸出港を細別せば門司港二十五萬噸若松港四十九萬噸にして二十九萬噸の減退なり尙七年十一月までの門若兩港輸出炭主要仕向地を前年と比較すれば左の如し

仕向地	七年	六年
上海	三三、三三九	三三、三三九
香港	一五、六六四	一五、六六四
新嘉坡	八、六六六	八、六六六
漢口	五、七三三	五、七三三
馬尼刺	二七、八六六	二七、八六六
彼南	一三、六六〇	一三、六六〇
古倫	一八、六六六	一八、六六六
西貢	八、四九九	八、四九九
パタピヤ	六、二二三	六、二二三

盤谷	4,000	1,808
青島	3,674	1,590
浦沙	3,490	2,555
燕湖	2,587	
巴ラソン	2,355	
カラチ	2,100	

七年中の内地積出總計は六百九十二萬噸に達し之が積出は門司港四十三萬噸、若松港六百二十六萬噸、宇の嶋港十一萬噸、東小倉港十一萬噸にして前年に比し若松二十八萬噸、宇の嶋二萬噸を増加せり今以上各港に於ける十一月迄の主要仕向地別を以て前年と比較すれば左の如し

下關	3,526	3,309
朝鮮諸港	3,331	3,536
和歌山	2,584	2,894
飾磨	2,256	2,339
宇野	2,077	2,042
岡田	1,861	1,880
岸田	1,861	1,880
半田	1,861	1,880
名古屋	1,861	1,880
向船用燃料炭の需要は外國船は著しく減退を示し居るも内船用炭は門若兩港に於て積込みし燃料炭は百十二萬六千四百七噸に達し大正六年中の百九萬二千二百四十五噸と比較する時は三萬三千餘噸の増加なり		

△門若貯炭趨勢

一月末	7年	6年	7年	6年
門若貯炭	7,266	6,975	7,340	7,340
若松	3,340	3,340	3,340	3,340

二月末	6,633	3,977	1,77,923	2,9,749
三月末	6,633	4,841	1,06,983	9,520
四月末	6,633	5,606	1,39,255	2,7,096
五月末	6,633	5,393	1,89,430	1,76,250
六月末	6,633	5,975	2,33,050	2,27,821
七月末	6,633	6,888	2,53,640	2,33,366
八月末	6,633	7,266	2,33,640	1,80,335
九月末	6,633	5,325	2,35,948	1,56,581
十月末	6,633	5,686	1,79,605	1,46,930
十一月末	6,633	5,000	1,34,063	1,23,750
十二月末	6,633	3,977	2,77,677	88,664

△汽船運炭貨

上海	7,000	1,300	2,000	8,000
香港	7,000	1,300	2,000	8,000
新嘉坡	7,000	1,300	2,000	8,000
馬尼刺	7,000	1,300	2,000	8,000

一月	9,000	1,450	2,700	1,900
二月	8,000	1,500	2,800	1,900
三月	7,000	1,500	2,800	1,900
四月	7,000	1,500	2,800	1,900
五月	7,000	1,500	2,800	1,900
六月	7,000	1,500	2,800	1,900
七月	7,000	1,500	2,800	1,900
八月	7,000	1,500	2,800	1,900
九月	7,000	1,500	2,800	1,900
十月	7,000	1,500	2,800	1,900
十一月	7,000	1,500	2,800	1,900
十二月	7,000	1,500	2,800	1,900

△帆船運炭貨

大阪	4,000	6,000	3,000	2,000
四日市	4,000	6,000	3,000	2,000
岡山	4,000	6,000	3,000	2,000
吳	4,000	6,000	3,000	2,000

樓 鐵 川 東 商 郵

橋 工 崎 洋 船 船
低 高 低 高 低 高 低 高 低 高 低 高

橋	工	崎	洋	船	船	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
七,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	一,八〇〇	一,九〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇

七年度關係會社株價

大阪造船	浦賀船渠	石川島造船	橫濱船渠	大阪鐵工	川崎造船所	海事工業(第二年度)	東京海運	日本海運
下上	下上	下上	下上	下上	下上	下上	下上	下上
一,五〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二,〇〇〇	三,〇〇〇	五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇
二,三五〇	五,〇〇〇	二,七八〇	五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一七,〇〇〇	二,〇〇〇	三,七五〇	三,七五〇
九,〇〇〇	一,九二五	一,八二〇	二,九二〇	四,六九〇	五,〇〇〇	二,八〇〇	三,九〇〇	三,九〇〇
六,七〇〇	一,八四七	一,七二一	二,九二〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	九,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
三	四	四	三	五	四	一	二	二

造船會社

資本金 拂込額 利益金 積立金 配當

橫濱	日清	東洋	大阪	帝國	神戶	日本	東京
海上	海上	海上	海上	海上	海上	海上	海上
五,〇〇〇	二,〇〇〇	三,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三,〇〇〇	五,〇〇〇	三,〇〇〇	一五,〇〇〇
一,二五〇	五〇〇	七五〇	二,七九〇	七五〇	一,二五〇	九〇〇	七,五〇〇
五,七五〇	九五〇	二,一〇〇	九,〇〇〇	三,三〇〇	五,四〇〇	八七〇	五,〇二九
四,〇九七	一,〇九七	一,〇〇〇	四,八七〇	三,七二五	三,九〇〇	三,九〇〇	四,九八九
二	一	一	一	一	二	二	三

海上保險

新設會社

大正七年中に於ける新設會社左の如し(資本金拾萬圓以上)

設立月日	資本金	營業種目	所在地	會社名
一、三〇	二〇〇	海運業	神戶	清水汽船
二、二八	二〇〇	海上運送船舶買賣	大阪	山本汽船
二、二六	二〇〇	木材薪炭船舶運送業	越中	中伏木興業
三、一五	三〇〇	海運業及漁業	函館	田中商店
三、一〇	三〇〇	船舶運送業	大阪	小山汽船
四、一	三〇〇	海上運送船舶買賣	神戶	申陽汽船
四、三	三〇〇	海陸運送船舶買賣	東京	東京運送
四、五	三〇〇	海上運送船舶買賣	大阪	小池海運工業
五、六	二〇〇	一般海運船舶買賣	神戶	東洋運送
五、一四	五〇〇	海運業及回漕業	釧路	前田汽船
五、一八	二〇〇	航海運業船舶買賣	高知	藤村商事
五、二〇	一〇〇	海運業船舶買賣	東京	帝國製糖汽船
五、二五	五〇〇	海運業仲立出入業	神戶	播磨汽船
六、一	一、五〇〇	一般海運業	長崎	三福汽船
七、七	二〇〇	海陸運業及解船	壺中	臺灣汽船
七、一六	三〇〇	船舶所有買賣海運	神戶	中川海運
七、一八	三〇〇	一般海運業船舶買賣	東京	東汽船
七、二五	一、〇〇〇	運輸及船舶業	橫濱	五大洋行
七、二六	一、〇〇〇	輸出海運業	東京	ガストンウキヤムス及ウキダモア
八、一	五〇〇	航海運送業	大島郡	大島汽船
八、六	五〇〇	貨物運搬船舶貸借	大阪	海運商會
八、一〇	五〇〇	曳船海難事業	大阪	辻正商船
八、一三	一〇〇	解船曳船業	神戶	神戶ライター
八、二〇	五〇〇	海運業及附帶事業	神戶	武有汽船
八、二六	五〇〇	一般海運業	東京	大正商船

設立月日	資本金	營業種目	所在地	會社名
九、三三	三〇〇	一般海運業	高知	土州海運
九、三三	五〇〇	一般海運業	神戶	中和汽船
一〇、一	五〇〇	海運業	高知	三和汽船
一〇、一〇	五〇〇	貨物運送船舶貸借	東京	極東汽船
一〇、一〇	五〇〇	一般海運業	高知	安喜汽船
一〇、三〇	一〇〇	海運業船舶買賣	神戶	帝國汽船
一〇、三〇	一〇〇	海運業木材業	大阪	新田汽船
一〇、三〇	三〇〇	造船場造船壘船渠	新潟	北越造船
一〇、三〇	一〇〇	造船鐵工業	神戶	濱田造船鐵工
一〇、三〇	一〇〇	造船業	若松	九州造船所
一〇、三〇	一〇〇	造船並解回漕業	網走	網走造船所
一〇、三〇	一〇〇	船舶建造修理	廣島	廣島造船所
一〇、三〇	一〇〇	船舶建造修理	廣島	廣島造船所
一〇、三〇	一〇〇	船舶建造修理販賣	東京	羽田造船所
一〇、三〇	一〇〇	船舶製造船舶修繕	東京	石井造船所
一〇、三〇	一〇〇	造船及其販賣	東京	津奈木造船所
一〇、三〇	一〇〇	船舶建造及修繕	神戶	和田岬造船所
一、二五	二〇〇	造船鐵工業	青森	青森造船鐵工
一、二六	一〇〇	船舶修理建造	大阪	千本松船渠
二、一五	一、〇〇〇	海上保險及再保險	大阪	中外海上保險
二、一五	一〇〇	一般海上保險	大阪	大東海上火災保險
二、一五	一〇〇	海上保險並再保險	神戶	朝日海上保險
二、一五	一、〇〇〇	貿易其他物品販賣	神戶	內田商事
二、一五	一、〇〇〇	一般ノ貿易業	橫濱	増田貿易
二、一五	一、〇〇〇	南洋殖林貿易	東京	南洋殖林工業
二、一五	一、〇〇〇	輸出入貿易	橫濱	菅川商會
二、一五	一、〇〇〇	貿易業	神戶	兼松商店
二、一五	一、〇〇〇	一般輸出入貿易	東京	淺野物産
二、一五	一、〇〇〇	貿易品輸出入	大阪	大阪貿易改良
二、一五	一、〇〇〇	一般商品輸出入貿易	東京	皆川商會
二、一五	一〇〇	輸出入海外貿易	東京	江戶商會

(221)

同 四丁目
京町八十二
海岸通三丁目
同 同
榮町通二丁目
葦合磯邊通四丁目
下山手通八丁目
京岸通三丁目
下山手通八丁目
南逆瀬川町
平野雪御前町
兵庫宮内町六三
葦合町一七二一
四納町
加納町
榮町
山手通六丁目
榮町通三丁目

中村汽船株式會社
內田汽船株式會社
株式會社上西商會
村尾汽船株式會社
合資會社陸商會
株式會社上野商會
野田汽船株式會社
組合汽船株式會社
山地汽船株式會社
山本佐次郎社
松本忠源七郎社
松島忠太郎社
京神合名會社
小池喜兵衛社
互光棧橋株式會社
神戶汽船株式會社
神戶汽船株式會社
小神林船株式會社
神戶商船株式會社

榮町四ノ二三
兵庫東川崎町
平野上三條町
播磨町
中山手通四丁目
北長狹通五丁目
三宮町三丁目
京町
榮町通二丁目
同 五丁目六
播磨町
榮町通四丁目
中山手通七丁目
海軍西出町
兵車馬場三三六
平野馬場三三六
兵庫縣武庫郡西宮
同 武庫郡西宮
同 須磨村

神戶共同汽船株式會社
帝國汽船株式會社
寺日海運株式會社
朝日海運株式會社
佐伯俊太郎社
三洋汽船株式會社
三洋汽船株式會社
明治海運株式會社
宮城屋株式會社
水島重吉社
神戶汽船株式會社
申陽汽船株式會社
平野汽船株式會社
扇野合名會社
菅野合名會社
鈴木勝治社
泉馬熊兼治社
八馬保兼治社
大久保兼治社

(220)

東區高麗橋五丁目
北區下福島
西區石田町二〇二
南區難波稻荷町
西區南堀江通五
中河內郡孔舍衛村
西成郡千船村
西區江ノ子島東町
北區富島町
南區天王寺茶臼山町
神戶
下山手通六丁目
榮町三丁目
兵庫湊町一丁目
同 江川町
榮町二丁目
海岸通二丁目二五
葦合若菜通七丁目

駒井喜兵衛
尼崎伊三郎
相澤友吉親
阪本汽船株式會社
岸本汽船株式會社
紀木貞健夫治社
木村真健夫治社
廣海汽船株式會社
攝陽商船株式會社
住友吉左衛門社
岩田可盛
井上國三郎
乾汽船合名會社
石川茂兵衛社
岩崎商會
石川商會
川崎商會
綾商會
治會

日本汽船株式會社
日東汽船株式會社
西尾和氣船會
神戶東和汽船會
豐崎汽船會
東洋商船株式會社
中外商船株式會社
尾崎汽船株式會社
小村汽船株式會社
奧村汽船株式會社
岡崎汽船株式會社
勝田汽船株式會社
川崎汽船株式會社
川崎汽船株式會社
大正汽船株式會社
大正汽船株式會社
大正汽船株式會社
大正汽船株式會社
成瀬甚正行

(231)

浪花町八番
榮町五丁目
海岸通三丁目
同 二丁目
榮町六丁目
元町二丁目
浪花町二六
海岸通六
元町三丁目
榮町三丁目
海岸通三丁目
梅岸通十二番
榮町通四丁目
兵庫島上町
榮町三丁目
海岸通三丁目
海岸通十一番
同 三丁目

高砂商事株式會社
高道商店支店
谷又太郎出張所
田所峰商會
田中商事會社出張所
田邊商會
武原商店
竹本商店
竹內商店
多田回漕店
大運組合資會社
津村商會
南洋郵船會社支店
中村組支店
中川海運株式會社

榮町三丁目
海岸通六
榮町五丁目
元町三丁目
榮町三丁目
播磨町十六
海岸通四丁目
榮町三丁目
同 三丁目
同 二丁目
元町三丁目
京町八十二
海岸通二丁目
同 同
榮町二丁目
同 四丁目
海岸通四丁目

中島峰夫商店
中村回漕店
中村來次
檜崎商店出張所
內外海運株式會社
永井商會
村井汽船會社支店
村尾汽船會社出張所
村重商會
村尾商會
村木回漕店
宇都宮回漕店出張所
內田商事株式會社
上西汽船株式會社
上地合資會社
野口汽船株式會社
野原事務會
野村商會

(230)

浪花町五十六
海岸通二丁目
同 六丁目
榮町六丁目
同 同
同 五丁目
海岸通二丁目
京町
榮町一丁目土生商店內
同 三丁目五六
同 二丁目
宮内町六三
仲町二十七番
榮町二丁目
元町四丁目
榮町四丁目
榮町四丁目
同 三丁目

岡崎汽船株式會社
奧村合資會社支店
大津屋商會
尾崎汽船會社出張所
尾崎商會
大關商會出張所
大阪商船會社支店
大商運送支店
渡邊商事會社出張所
甲斐商會
片野回商會
勝田汽船株式會社
金上商會
上撫商會
柏木合名會社
花陽商會
神戶商船株式會社

京町六十九
海岸通三丁目
山本通四丁目
榮町二丁目
兵庫島上町
海岸通一丁目
川崎町
榮町二丁目
海岸通二丁目
榮町一丁目
播磨町十六
海岸通英七番
榮町三丁目
京町八十一
榮町二丁目
同 同
京町
中山手通六丁目

川上商店船部
上組合資會社
楠木利一
金森商船會社出張所
川西商店運輸部
川崎汽船株式會社
川崎商船部
吉野商店船部出張所
吉野商會
橫田平回商會
大連汽船會社出張所
大正回漕株式會社
大三商會出張所
大洋海運株式會社
太刀川海運會社支店
大正海運合名會社
大正洋商會
高橋合資會社

榮町二丁目
播磨町十六
明石町
榮町二丁目
播磨町十七
西町四十二
海岸通五丁目
元町三丁目
榮町六丁目
同二丁目
海岸通三丁目
榮町三丁目
同
同
海岸通二丁目
榮町三丁目
海岸通一丁目
榮町一丁目

野口船舶部出張所
國友商會
日下部株式會社支店
栗林合名會社出張所
久原商會社船部
熊谷回漕部
山崎商會回漕部
山地四郎商會
山下汽船株式會社
山本商會
山脇商會
彌生商會
大和海運株式會社
丸二商店出張所
丸山商店

萬洋社支店
松尾事務所
松田汽船會社船部
松本商會
增田貿易會社支店船部
牧瀨商會
福川汽船會社出張所
福原商會
福川汽船部出張所
藤井深商會
藤本商會
古河商會
不二商會
武有汽船株式會社
高野汽船株式會社
小柳商會
互光商會

海岸通二丁目
同三丁目
同二丁目
榮町二丁目
同三丁目
同
東町
海岸通三丁目
下三條町
元町四丁目
前町十四番
榮町一丁目
同五丁目
同
元町三丁目
東川崎町
海岸通二丁目

近藤商店支店
後藤商會出張所
兒玉商店出張所
後藤回漕部
後藤船部
港榮船會
神戶棧橋株式會社
神戶商船會社
神戶ライター株式會社
小西恒藏
榎壽逸商會
江原商會出張所
美惠壽商會
越後屋商會
天羽商會
帝國海運株式會社
帝國汽船株式會社
帝國製糖汽船部

相生汽船會
旭澤商會
朝日海運株式會社
尼崎汽船部支店
亞細亞海運株式會社
淺野物產會社出張所
淺田深商會
三藤榮商會
佐藤商會
三藤商會
三洋商會
澤山商會出張所
山東商會
三恭商會
三阜商會
三阜商會

榮町二丁目
海岸通十二番
海岸通三丁目
前町
海岸通四丁目
元町三丁目
海岸通
榮町一丁目
海岸通二丁目
浪花町二六四
榮町二丁目
同六丁目
海岸通二丁目
榮町四丁目
海岸通四丁目
浪花町二十六
榮町二丁目

同 北境川町
同 川口町
梅田阪神電車前
西區石田町
北區古川町一
西區本田三番町
北區富島町
西區北堀江二番町
同 九條北通三丁目
同 本田三番町
同 川口町
同 築港棧橋前
東區大川町
北區富島町
西區南堀江通一
同 新町南通五
同 木津川一丁目
西區北堀江三番町

小池海事工業會社
廣運合資會社
港榮商會出張所
相澤船船部
赤木商會出張所
尼崎汽船部
明野石縫藏部
青野久作商會
阿部久作商會
三三榮光組
三三幸光組
三本汽船抹式會社
岸本汽船抹式會社
木元回漕店出張所
絹笠廣次郎
三上合資會社支店

同 梅本町
同 新町南通五
同 堀江三丁目
同 北區富島町
同 西區本田三番町
同 同
同 松島二
北區富島町
西區江ノ子島東町
東區道修町三
北區富島町十八
西區北堀江六番町
東區本町五丁目

○東京

溝口回漕店
宮阪商行出張所
松昌洋行出張所
商船山陰組
商船有魚組
信盛商會
平尾小今井合資會社
廣海汽船株式會社
茂陽汽船株式會社
攝津商會株式會社
攝津商會株式會社
菅谷商會
伊地知事務所出張所
井口延次郎
井田商會

同 江戸堀南通三丁目
北區富島町
西區松島二
同 三條通
北區北區小松原町
同 富島町
西區江戶堀北通二
同 靱南通
同 新町南通三
同 本田一丁目
北區富島町
同 中島六丁目
西區新町南通五丁目
同 三條通
南區木津川町一
西區北堀江三番町
東區上給屋町

加藤國景光組
韓運商會
海運商會
大東商事株式會社
太刀川商會支店
田中商事株式會社
田中商事株式會社
高島商會
谷久太郎出張所
泰和洋行
月本房次郎
臺村灣組
中村萬之助商會
中村萬之助商會
中山商會
浪花汽船株式會社
長尾千代松商店

西區西長堀通二
同 北堀江通六
同 同
北區富島町
西區南通二丁目
北區富島町五〇
西區北堀江一番町
北區富島町
西區北通四丁目
北區堂島濱通一
同 中島七丁目
西區九條中道四丁目
同 南堀江通五
同 江戶堀南通二
同 西長堀南通四
北區富島町
西區北堀江四丁目

右近商事株式會社
山科汽船株式會社
山崎汽船株式會社
山本汽船株式會社
山口運送會社
矢吹商會
松井商會
前田商會
萬川汽船株式會社
深川汽船株式會社
古河商事株式會社
藤村商會出張所
藤村商會出張所
藤村商會出張所
武齊汽船株式會社
福川汽船株式會社
神戶橋會社出張所
小山船會社出張所

(255)

山東同同山監加山紀同敷山大山飛監山加
縣鄉 縣部賀縣伊 島縣山縣彈部縣賀
通町 通通町通町 町通通通町通通町

鈴松三宮岸共澤阪秋英後古滿松丸丸村田
木茂井崎本同山井和河州菊二井中
商洋洋商商汽船元汽藤商事船合名商木汽合資會社
店出張所行會會社所會社會社支店社會會社出張所
同同同上 北同同青芝 營旅同安

同同同上 北同同青芝 營旅同安
京 東
支 町 島 榮 口 順 縣 滿州各地
那 山東省

大東日日本
阪洋清汽郵
商汽汽船船
船船船會會
會會會社社
社社社支支
支支支店店
店店店店店
中岩日本岩
大連汽城郵
村汽城船會
組船會會
支組會會
支支社社
店店支支
所所所所
所所所所
小山中
寺口野
合初
船名太
名會會
部社部
大連汽船會社出張所
中野初太
山口合名會社
小寺船名會社

(254)

馬同同木同群同同同同同同同同同同同同同同同同
山 浦 山 山 山 川

荻谷吉大尼大澤安朝大大大丸田吉朝浦大堀
野村阪崎山鮮阪阪阪阪阪阪阪阪阪阪阪阪阪阪阪阪
彌回田商崎澤山郵池商東郵池商東郵池商東郵池商東
左漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕
衛漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕漕
門店組店所邸會會店二店店店店店店店店店店店店
監同同同山敷同大 新龍清新西平鎮城
部 縣島山 義巖 湖 南
通 通町 通 大 浦浦浦浦浦津瀾浦津

連

大東日日本
阪洋清汽郵
商汽汽船船
船船船會會
會會會社社
社社社支支
支支支店店
店店店店店
中岩日本岩
大連汽城郵
村汽城船會
組船會會
支組會會
支支社社
店店支支
所所所所
所所所所
大連汽船會社出張所
中野初太
山口合名會社
小寺船名會社
大連汽船會社出張所
中野初太
山口合名會社
小寺船名會社

海事 關係 會社 役員 錄

(一) 汽船會社

◆日本郵船株式會社

專務取締役社長 男爵
專務取締役副社長
專務取締役

近藤 廉平
須田 米治
伊東 祐吉
原田 金之助
永富 雄平
島村 淺夫
藤島 範太郎
中島 滋太
永田 仁一
柳生 一元
湯河 義臣

監查役
同 同
同 相談役

△營業部

營業部長(兼) 內航課長

外航課長

山本 直良
河村 金五郎
島藤 正藏
加藤 誠之助
男爵 伊東 米治郎
襟木 了雄
土肥 了介
大久保 忠雄
齊藤 武夫
山本 幸枝
黒川 新次郎
原田 貞之
恩田 貞次郎
菅波 銅吉
石谷 貞次郎

西區 土佐堀裏町
北區 堂島濱通三
同 中ノ島四丁目
東區 本町四丁目
西區 川口町

八千代海上保險會社支店
扶桑海上保險會社支店
神戸海上保險會社支店
帝國海上火災保險會社支店
攝津海上保險會社
日本海上保險會社支店
日東海上火災保險株式會社
日清火災海上保險出張所
東京海上保險會社支店
大阪海上火災保險會社支店
橫濱火災海上保險會社支店
大平洋海上保險會社
扶桑海上保險支店
神戸海上火災運送保險會社
帝國海上運送火災保險支店
朝日海上保險會社

□各地

名古屋市中區新柳町
同 西區玉屋町一丁目
福岡市橋口町
博多下新川端町十五
金澤町十間町
同上堤町三十番地
長崎市
京都市
同 下京區烏丸通觀音町
仙臺市
同 南町五十六
上海
同 京城鐘路通一丁目
大阪海上火災保險會社出張所
日清火災海上保險會社出張所
橫濱火災海上保險會社出張所
大阪海上火災保險會社出張所
橫濱火災海上保險會社出張所
大阪海上火災保險會社出張所
橫濱火災海上保險會社出張所
日清火災海上保險會社出張所
日清火災海上保險會社出張所
橫濱火災海上保險會社出張所
日清火災海上保險會社出張所
橫濱火災海上保險會社出張所
日本海上保險出張所
大正海上保險株式會社
扶桑海上保險出張所
橫濱火災保險會社出張所

統計課長
 △調度部
 部長(兼)
 用度課長
 管理課長
 主査(兼)
 △業務調査
 監査役附秘書
 同秘書
 ◎支店
 △東京支店
 支店長

佐藤兵太郎
 河田龜松
 島村淺夫
 島村朝太
 林朝太
 春田助太郎
 伊東米治郎
 寺島成信
 小島四郎
 小松辰吉
 西郷午次郎
 小田啓啓
 豊田鑑吉

副長
 △大阪支店
 支店長
 副支店長
 同心得
 △横濱支店
 支店長
 副支店長
 同
 同
 造船副監督
 造船副監督
 航海副監督
 船醫監督
 水火夫取締

兒島喜代藏
 森上治郎
 田爲次郎
 林友作
 深野志磨
 渡邊水太
 藤田未類
 林直行
 有本地
 阪本錦
 山本
 小松原定
 山脇
 堀脇長武
 福夫

船客課長
 △海務部
 部長(兼)
 航海課長
 機關課長
 △工務部
 部長(兼)
 設計課長

木下昇平
 小森澤三
 永島米義
 栗島義吉
 中島滋太
 今川武平
 平瀬清馬
 小堀正男
 安田景
 三島重藤
 鳥居太
 藤上邦平
 河上邦平
 清田知謙

保船課長
 航海監督
 機關監督
 △庶務部
 部長(兼)
 文書課長
 人事課長
 △主計部
 部長(兼)
 會計課長

永倉直七
 富永敏
 小長井
 阿部梧
 武田福太
 朝倉太
 中島鎧
 中村鎧
 廣吉
 井本國太
 坂本宗四郎
 田邊長三
 永富雄
 山中友吉
 三鬼金太郎

△神戶支店
支店長 石井 勝司
副支店長 山田 嘉次
同長心得 大野 直夫
造船監督 大岡 治
造船副監督 橋口 次郎
航海監督 伊藤 由次
機關監督 佐藤 元
造船副監督 橋本 柳三

尾黒 橋本 佐藤 伊藤 橋口 大岡 大野 勝司
川村 形屋 本橋 藤元 中 河内 嘉次 山井
景正 修柳 橋本 由次 直夫 勝司
敏平 三橋 一 一郎 治 次 司 徹

△函館支店
支店長 松平 三郎
副支店長 秋山 貞吉
機關副監督 井上 貞吉
△小樽支店
支店長 土方 信吉
副支店長 池方 幸雄
△基隆支店
支店長 吉川 卯三
副支店長 青池 三郎
△名古屋支店
支店長 小栗 復吉
△上海支店
支店長 伊吹 山徳
副支店長 瀨尾 政太郎

松平 三郎 秋山 貞吉 井上 貞吉
土方 信吉 池方 幸雄
吉川 卯三 青池 三郎
小栗 復吉
伊吹 山徳 瀨尾 政太郎

副長心得 山近 啓三
△青島在勤 山近 啓三
△漢口在勤 山近 啓三
△天津支店
支店長 石澤 民衛
△香港支店
支店長 安田 繁三
副支店長 堀田 勝吉
△孟買支店
支店長 川口 榮治
副支店長 吉田 留吉
△倫敦支店
支店長 水川 復太
副支店長 ゼムース
同長心得 清水 安吉

山近 啓三 山近 啓三 山近 啓三
石澤 民衛 石澤 民衛 石澤 民衛
安田 繁三 安田 繁三 安田 繁三
堀田 勝吉 堀田 勝吉 堀田 勝吉
川口 榮治 川口 榮治 川口 榮治
吉田 留吉 吉田 留吉 吉田 留吉
水川 復太 水川 復太 水川 復太
ゼムース 清水 安吉 清水 安吉

造船副監督 淺井 虎之助
△甲谷陀支店
支店長 大谷 眞次
副支店長 箕作 眞次
△沙市出張所
出張所長 エフ、エム、スタッドレー
副支店長 中瀬 精一
△紐育出張所
出張所長 ゼー、シー、トッド
副支店長 龜井 一彦
副支店長 金鞍 一彦
副支店長 松井 清治
△新嘉坡出張所
出張所長心得 宮下 龍藏
△牛莊在勤 森 吉

淺井 虎之助 大谷 眞次 箕作 眞次
エフ、エム、スタッドレー 中瀬 精一
ゼー、シー、トッド 龜井 一彦 金鞍 一彦 松井 清治
宮下 龍藏 森 吉

同 監 査 役

◎本店

總務課長心得
營業課長
技術課

青 串 木 田 菊 萬 藏
原 藤 耕 三 三
伊 本 長 達
山 永 規 一
松 永 規 一
郎 方 三 三

◇長崎造船所

△所長
△總務部長
庶務課長
營業課長兼材料課長
勤怠課長心得
會計課長
職工課長心得
建築課長

濱 村 田 彪
松 山 龜 太 郎
西 卷 山 龜 太 郎
八 崎 喜 代 三
岡 崎 弘 次 郎
福 島 弘 次 郎
長 岡 利 智
千 葉 利 智

◇神戸造船所

△所長
△總務部長
營業課長
材料課長
勤怠課長心得
會計課長兼庶務課長
職工課長心得

三 永 原 正 雄 夫
永 田 庸 治
石 井 常 夫
上 月 爲 直
寺 澤 健 二
岩 崎 信 一

△造船部長
造船設計課長
造船工場支配人
△造船部長
造船設計課長
造船工場支配人
製造工場支配人
鑄造工場支配人
電氣課長

斯 波 孝 四 郎
川 原 孝 四 郎
斯 波 孝 四 郎
江 崎 一 郎
山 口 泉 吉 郎
阿 部 次 郎
深 川 靜 郎
大 原 謙 治 郎
笠 原 謙 治 郎

建築課長

△造船部長

造船設計課長

造船工場支配人

△造船部長

造船設計課長

造船工場支配人

製造工場支配人

鑄造鍛冶工場支配人

△內燃機部長

內燃機工場支配人

△電氣部長

修繕課支配人兼
船渠課支配人

△所長

◇彦島造船所

△所長

伊 藤 源 治
山 本 長 方
德 大 守 則 磨
石 龜 敏 正 夫
三 木 里 正 夫
今 本 里 尚 夫
松 本 辰 三 郎
岡 本 猛 彦 郎
林 田 忍 四 郎
伊 東 久 米 藏
上 郷 傳 次
立 原 義 任
三 原 義 豐
孕 石 元 照

事務所
技術部

◇長崎兵器製作所

△所長
計畫部
製造部
検査部

高 比 良 幸 吉
阿 部 圭 一
竹 本 重 伴 吉
伊 本 一 生
伊 頭 藤 一
千 頭 一 生

◎長崎製鋼所建築事務所

△所長

江 崎 一 郎

◇川崎造船所

專務取締役社長
同 副社長
取 締 役
取 締 役

松 方 幸 次 郎
川 崎 芳 太 郎
野 崎 元 滿
廣 瀨 正 郎

日本海上保險株式會社

同 監 查 役 中 田 村 將 清 發 藏
 取締役社長 右近 權左衛門
 常務取締役 右近 福和
 同 取 締 役 右近 藤次郎
 同 監 查 役 近 藤 喜次郎
 同 監 查 役 八木 千之丞
 同 監 查 役 中村 三之助
 同 監 查 役 馬場 道久
 支 配 人 八島 五郎右衛門
 副 支 配 人 川口 義宏
 △ 幹 部
 貨物保險課長 平山 富太郎
 再保險課長 東 興三郎
 船舶保險課長(兼) 川口 義宏

火災保險課長(兼) 東 與三郎
 會計課長(兼) 八十島 五郎右衛門
 查定課長 八 杉 真宗
 文書課長 十 川 兵三郎
 庶務課長(兼) 川 口 義宏
 東京支店長代理 山本 治五右衛門
 大阪支店長 木 原 純一
 橫濱支店長心得 石 井 英祐
 神戶支店長 水 谷 誠造
 上海支店長 松 室 重生

大阪海上火災保險株式會社
 取締役社長 範多 龍太郎
 專務取締役 多羅 尾 源三郎
 取 締 役 喜 多 又藏
 同 取 締 役 木 井 村 清
 取締役兼支配人 淺 井 義夫
 監 查 役 井 上 敏夫

同 監 查 役 中 山 說 三 郎
 △ 幹 部
 △ 總 務 課 長 狩 野 安 吉
 △ 營 業 課 長 松 本 與 一
 △ 再 保 險 係 長 有 川 英 次
 △ 積 荷 係 長 生 駒 三 郎
 △ 船 舶 係 長 心 得 三 泉 嘉 一
 △ 查 定 課 長 佐 藤 嘉 一
 △ 救 助 係 長 奧 泉 嘉 一
 △ 海 損 係 長 岸 田 幸 三
 △ 火 災 部 長 小 阪 耕 三
 △ 契 約 係 長 河 邊 濯 三
 △ 監 查 係 長 心 得 林 野 庸 三
 △ 市 內 課 長 越 野 定 三
 △ 東 京 支 店 長 伊 賀 歌 吉
 次 席 木 戶 豐 次

△ 神戶支店長心得 平 井 保 藏
 △ 橫濱出張所長 廣 瀨 孝 七
 △ 名古屋出張所長 福 田 武 次
 △ 金澤出張所長 荒 川 實 郎
 △ 名古屋出張所主任 石 川 辰 太郎
 △ 九州出張所長心得 松 村 庄 次郎
 竹 崎 律 次

橫濱火災海上運送
 信用保險株式會社
 取締役社長 小 野 光 景
 專務取締役 井 野 三 郎
 取 締 役 大 濱 幾 造
 同 取 締 役 若 尾 義 三
 同 取 締 役 原 富 太 郎
 同 取 締 役 濵 澤 義 一
 同 取 締 役 茂 木 悠 兵衛
 同 取 締 役 錦 戶 右 門
 同 兼 總 支 配 人

日清火災海上保險株式會社

取締役社長 岸本兼太郎
 常務取締役 吉田長門
 取締役 辰馬吉左衛門
 同 八木千之助
 同 八馬兼介
 同 原田六郎
 同 岸本五兵衛
 同 猪俣九兵衛
 支配人 井手亮藏
 大羽深正
 羽館紫
 進藤正雄
 瀬上弓之助
 田畑嘉三郎
 石田伊三郎
 火災保險課長
 海上保險課長
 經理課長
 東京支店長
 同助
 九州出張所長
 名古屋出張所長

大正海上火災保險株式會社

京都出張所長 米田真一
 神戸出張所長 清水那造
 仙臺馬在員 高木深吉
 横濱駐在員 伊藤石馬
 取締役社長 飯田義一
 常務取締役 平生三郎
 取締役 飯田義三
 同 山本悌二郎
 同 原富太郎
 同 小田楠捨次郎
 同 佐々木勇之助
 同 小室三吉
 支配人 飯沼剛一
 東京本店主任 永井又二郎
 大阪支店主任 濱井剛一
 神戸支店營業本部主任(兼) 飯沼剛一

扶桑海上保險株式會社

取締役會長 加藤正義
 專務取締役 松木正三
 取締役 小倉正三
 同 篠野乙次郎
 同 平生開二
 同 井上公三
 同 森村親作
 同 八木親作
 同 岸本兼大
 同 三宅繁二
 同 三宅繁二
 同 飯島繁作
 同 三島繁作
 同 河出口四郎
 支配人 大阪支店長
 神戸支店長代理
 横濱出張所長
 上海出張所

第一火災海上再保險株式會社

取締役社長 窪田四郎
 常務取締役 草場茂一
 取締役 内田信也
 同 上野龜之助
 同 四井喜米
 同 前田喜米
 同 河原銀次
 同 勝田銀次
 同 菊池吉藏
 同 中澤房藏
 同 鈴木猪太郎
 同 梶崎猪太郎
 同 柳莊太郎
 同 坂高次郎
 同 尾高次郎
 同 渡邊直温
 同 志賀直温

Particulars
OF
Japanese
Cargo Steamers

MAY 1919

定價 一冊六圓 郵稅實費
發賣所 海事彙報社

每月曜日發行

海事彙報

定價(郵稅共) 一部十五錢 一ヶ月四十錢
六月二圓廿錢 一年四圓

廣告料 五號活字十五字詰一行卅錢
二號活字七字詰六十錢

大阪市北區西梅田町三百九十三番地

海事彙報社

電話土佐堀一四二六番
振替口座大阪三四九九番

37
637

終

